



2018年11月30日  
東京地下鉄株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト 「TOKYO SPORTS STATION」の第6シリーズが始まります！！

東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第6シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

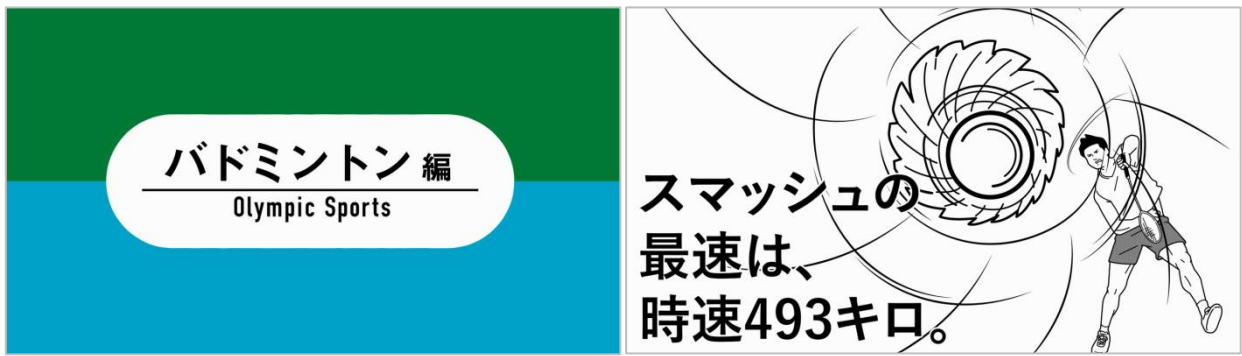
「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンを中心に放映するほか、特設YouTubeチャンネルにてこれまでの放映分も含めてご覧いただけます。

皆さまの移動時間を更に楽しんでいただけるものとなっておりますので、ぜひご覧ください！

- 1 主 催 東京メトロ、JR東日本
- 2 概 要 「TOKYO SPORTS STATION」第6シリーズ：2018年12月3日(月)～
- 3 第6シリーズ紹介競技 #20 バドミントン  
#21 テコンドー  
#22 ボッチャ  
#23 パラ卓球  
#24 パラテコンドー
- 4 動 画 展 開 東京メトロ：Tokyo Metro Vision  
JR東日本：トレインチャンネル  
※特設YouTubeチャンネル  
<https://www.youtube.com/c/TOKYOSPORTSSTATION>  
からもご覧いただけます。(2018年11月30日(金)14:00以降順次公開)
- 5 ポスター展開 東京メトロ、JR東日本の電車内にポスター掲出

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介（#20 バドミントン）

・動画



・ポスター



Tokyo 2020に  
乗り遅れないための

# TOKYO SPORTS STATION #20

バドミントン 編  
Olympic Sports



YouTubeで  
動画も公開中!

### スマッシュの最速は、 時速493キロ。




凄まじい速度のスマッシュで相手のコートを狙う「バドミントン」。初速の最高記録はなんと時速493kmで、球技最速と言われています。想像を絶した速さで繰り広げられる戦いは、見応えたっぷりです。

### 「見えませんでした」という判定がある。



速さに加え、緻密なコントロールも見どころ。ライン際を狙い高速スマッシュを打つため、観客がイン・アウトを判定できないことも。そのため、観審は、両手で目を覆い「見えませんでした」と申告することが可能で、さらに主審も判定できない場合は、なんとノーカウントでやり直しとなります。


### 1点を争って、 100回ラリー。




驚きの反射神経でシャトルを拾う選手たち。実力が拮抗したトップチーム同士のダブルスでは、100回以上ラリーが続くことも珍しくありません。ギリギリのところではシャトルを拾い合う、選手たちの身体能力と忍耐力は、見事の一言です。

**【バドミントンとは?】**  
シングルスは縦13.4m×横5.18m、ダブルスは縦13.4m×横6.10mのコートで、ネット越しにシャトルと呼ばれる羽のついた球を打ち合います。各ゲーム21点先取の3ゲームマッチで、2ゲームを取った方が勝ちとなります。超高速スマッシュや、緩急をつけて裏をかくドロップなど、多彩なショットの打ち分けで得点を狙います。(2018年11月現在の情報です)

**【競技会場】**  
武蔵野の森総合スポーツプラザ  
(2018年11月現在の情報です)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)